

共生

奈良県生協連

1999年1月

NO.31

世界遺産登録の奈良をたずねて PART-3

12月2日 ユネスコ世界遺産委員会京都会議は「古都奈良の文化財」として奈良市内の8遺跡群を世界遺産に登録する事を決定しました。



<春日大社>

春日大社の庄巻は何と言っても石灯籠と釣灯籠の多さであろう。石灯籠は1780基、釣灯籠は1012基と伝えられ、節分と中元の夜一斉に点灯され、幽幻の世界が出現する。灯籠は江戸時代に寄進されたものが主であるが、鎌倉・足利時代のもも含まれている。春日信仰が藤原氏から武士へ、さらに庶民へと広がるにつれ人々の願いをこめて寄進する一灯一灯が次第に数を増していったのであろう。

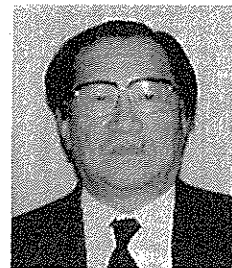
大和の国に冬の訪れを告げる春日大社若宮の「おん祭り」は12月17日に行われ、県下第一の祭りとして知られている。「おん祭り」には神に捧げる古典芸能が豊富なことも特筆される。舞楽・田楽・猿楽などが興行され、また舞楽には奈良時代の太鼓が今日でも鳴らされている。また春日大社と興福寺が能楽の大和四座（金春・金剛・宝生・観世）を育てる上で大きな役割を果たした事もふれておきたい。

社会的責任を跳躍台に



奈良県生活協同組合連合会

会長 繁田 實造



あけましておめでとあございます。

考えるまでもなく、昨年は大変な年でした。アジアに端を発した通貨危機があれよあれよと思う間に世界中に拡がり、円に対する通貨不安が高まりました。また、一昨年の消費税の値上げや医療費の自己負担分の増加による庶民生活への打撃は一層深刻となり、長銀のような大企業をもまき込んだ企業倒産が各地でみられ、そこまでは行かずとも、業績不振の企業が続出し、デフレ・スパイラルに突入したとの見方が定着しつつあります。

自然界でもエルニーニョ現象による山林火災、集中豪雨・河川氾濫が世界の各地でみられ、日本でも関東・東北地方で集中豪雨が続き、心を痛める間もなく、地元奈良でも台風第7号の強襲があり、貴重な文化財をはじめ、庶民の生活に大きな爪痕を残しました。また、和歌山毒物カレー事件が発生しますと、堰を切ったように毒物混入事件が発生し、他方、学級崩壊現象は小学校にまで波及し、世相の荒廃もとどまるどころを知らずといえます。

しかし、暗い話ばかりではありませんでした。明るい身近な話もありました。奈良県生協連の下に結集している各生協は、お互いに自己努力を重ね、協力し合うことによって、それぞれの状況の中で共助による一定の効果を挙げることができました。台風第7号の強襲に対しては、奈良県労済生協やならコープ共済が、生協ならではの迅速な共済活動を行ない、多くの組合員

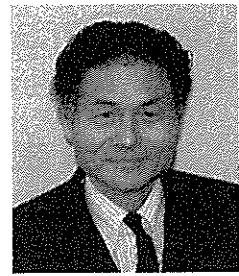
に喜んでもらいました。また、ならコープが押し進めてきました特別養護老人ホームの建設問題も、社会福祉法人「協同福祉会」の正式認可があり、高齢者福祉のための拠点が固められつつあるといえます。

なによりも奈良県生協連にとって画期的な明るい話は、生協法施行50周年を記念してもたれた第9回奈良県生協大会の大成功であります。すなわち、日生協の竹本成徳会長の講演「21世紀の生協運動」、ご来賓の柿本善也奈良県知事、大川靖則奈良市長、梶川虔二奈良県議会常任厚生委員長、甘利治夫奈良新聞社代表取締役のご祝辞、友誼団体を代表して高田昌彦奈良県農業協同組合中央会会長のご祝辞をはじめ、多くのメッセージや祝電をいただきました。このようなことは1990年3月8日に県生協連が結成されて以来はじめてのことであります。県連が、奈良県に結成されたこと自体、奈良県下における生協運動の充実を示すものでありましたが、第9回生協大会の成功は、われわれに大きな自信を与えると同時に、奈良県生協連に対する期待に応えるよう今後より一層努力する必要があります。社会的責任を強く感じたことでした。

今年も生協をとりまく状況は好転しそうにありませんが、昨年の明るい成果を年頭にあって再確認し、増大した社会的責任を跳躍台として、兎のように大飛躍し、21世紀に突入する努力をしようではありませんか。

国際高齢者年にふれて

社会福祉法人協同福祉会
理事長 伊藤 次栄



新しいということについて

'99年は国際高齢者年だと聞きます。このせいであろうか、各地の各種団体などが多彩な企画を用意しつつ行動計画をたてているということです。

国連憲章にもとづく「高齢者のための国連原則」はかなり理想的な内容のものであり、高い水準のものです。しかし、私は恥しいことにこのことに関する知識も理解もないので、これらに触れる能力も資格もありません。

だが、高齢者に関する課題は21世紀における先進諸国の共通で、しかも新しくかつ緊急な課題であることは明確に認識できます。

ところで高齢者福祉の一端を担いつつある者の立場から考えると「新しい課題」には二つの特徴があるように思われます。

その一つは、新鮮で未消化で、未開拓であるために可能性が豊かであること。豊富な可能性は、おのずから人びとにとって魅力的であり、人びとを動かす力をもっているので、急速に進展する可能性をもっていることです。

その二つは、その一方に新しいことであればあるほど「無関心」な人びとが多いという大きな壁が必ずつきまとうということです。この壁を突破しないと新しい課題は、お題目に終わる危険を伴うということになります。

新しい課題は、多くの味方を得られると同時に「無関心な人びと」を最初から抱えざるを得ないものようです。

この「無関心」を突破するためにもまた二つの道・方法があると思われます。

その一つは、関心のある人びとがまず人びとに、働きかけ影響力を行使すること、つま

り行動を興すことです。課題そのものが、新しい課題として成立するかどうか決定するのは、この関心のある人びとの行動以外にないでしょう。

その二つは、環境を変えること、または環境が変わることでしょう。人は自分の置かれている条件や立場・環境が変わると、問題意識も関心事も変化するのが普通です。

無関心な人びとを動かし、変えることができれば、新しい課題の普及も運動の成果も間違いなく保障されることになります。

しかしその道も決して単純ではありません。誰かが行使する影響力が、おしつけであったり強制感が伴うと、そこにはのっぴきならない抵抗が生じるからです。特に民主的な人びとの場合に、ほとんど例外なくそういう現象が生じるように思われます。

新しい課題は、いつもこのような可能性と危険とを孕んでいるということができません。経験的には「急がなければならないが、急ぎ過ぎてはならない」ように思われ、事実を淡々と示し、淡々と語る、この継続反復という平凡なことが実は大きな力になるという気がします。しかし、新しい課題には明るい未来があることを確信することが最も重要で、99年は明るい未来が開ける年であって欲しいと考えます。

また、今年の9月には、ならコープが母体になってつくる、私どもの「あすなら苑」が開設される予定です。改めて、皆様のご指導とご支援をお願い致します。

..... < も く じ >

社会的責任を跳躍台に2	福祉9	つながる連帯・友好の輪14
国際高齢者年にふれて3	環境10	県連日誌・お知らせ16
第9回奈良県生協大会4	平和11		
台風7号災害8	ひろがる協同・くらしの輪12		

第9回奈良県生協大会

消費生活協同組合法制定 50 周年記念

'98年10月31日、猿沢荘において第9回奈良県生協大会を開催しました。今年は消費生活協同組合法制定50周年に当たり、日生協の竹本成徳会長（生活協同組合コープこうべ理事長）を招き「21世紀の生協運動」のテーマで記念講演を行いました。また、奈良県知事柿本善也氏、奈良市長大川靖則氏、県議会常任厚生委員長梶川虔二氏をはじめ多くの来賓の方々や、会員生協の理事長、役員や組合員など約210名が法制定から50年の節目の年を祝いました。

講演の中で竹本会長は、阪神淡路大震災時の支援に感謝されるとともに、全国から集った若者を中心としたボランティアの、非常時に直面した時の人間愛あふれる熱い思いは、21世紀にも継続させたいこと、50年前に制定された生協法が恒久平和を願って制定された現憲法を背景にした高い理念を掲げた法律であり、広島での被爆体験から平和の尊さを再確認し、核兵器や対人地雷の廃絶など平和問題は一番大事にしたい問題であること、20世紀が、科学技術や経済が発展し物的に豊かになった一方、未だ世界の各地で多くの子供達が飢餓で苦しみ、命を落としているという暗い陰ももちあわせていることや環境問題、食糧問題、少子高齢化

問題の解決は21世紀の課題であること、'95年のICA大会で決議した協同組合の定義、価値、原則に基づく運営が何より大切で、21世紀における生協は、20世紀に問われた課題に自ら進んで取り組み、連帯し、相互扶助するという共生の理念を持って先導的な役割を果たしたいこと等、21世紀における生協運動の方向を示されました。



<奈良新聞 11・1>

21世紀へ飛躍誓う

奈良で県生協大会

竹本 日生協連長 が講演

第9回奈良県生協大会



記念講演する竹本成徳さん
(31日、奈良市池之内町の猿沢荘)

第九回奈良県生協大会（県生協同組合連合会主催）が三十一日、奈良市池之内町の猿沢荘で行われた。今年のは消費生活協同組合法制定五十周年にあたることから日本の生協運動のリーダーである日本生活協同組合連合会の竹本成徳会長を招いて記念講演なども開かれ、盛大に節目の年を祝った。大会は、県生活協同組合

連合会が設立された平成一年から、内部強化月間の一環として毎年開かれていた。今年には生協法五十周年を記念して広く一般の人にも生協運動を知ってもらおうと、多くの来賓を招いた。記念講演では、竹本会長が「二十一世紀の生協運動」と題して、「二十一世紀へ向けての展望とともに、これまでの歩みを振り返った。竹本会長は「経済的により安全なもののみならず、安全なものをみんなで分け合うことに留まらず、人間のきずなを作り、福祉、文化などの活動に参加して地域社会に影響を与えた初期の運動が（生協運動の）成功の要因の一つだと思っている」と述べた。

その後、柿本善也知事や大川靖則奈良市長ら来賓を招いて、県生協連会長賞の表彰や厚生大臣賞受賞の記念品贈呈式、各会員生協の活動報告などがあつた。

ご出席頂いた ご来賓のみなさん

◆ご来賓（順不同）

- ・奈良県知事 柿本善也様
県民生活課職員様
- ・奈良市長 大川靖則様
- ・奈良県議会常任厚生委員会
委員長 梶川虔二様
- ・県議会議員常任厚生委員
高橋 哲様・中野明美様
- ・奈良新聞社代表取締役
常務 甘利治夫様
- ・奈良県農業協同組合中央会
会長 高田昌彦様
中央会職員様
- ・奈良県原爆被害者の会
会長 市原大資様
- ・奈良県青年団協議会
会長 小林信子様
- ・奈良の食文化研究会
奥村幸子・芦原隆文様
- ・奈良県自然保護協会
事務局長 谷 幸三様
- ・奈良YMCA
所長 藤井辰男様
- ・奈良市消費者モニターO B会
会長 梅本咲子様
- ・奈良県第二生活科学センター
消費生活教室O B会
運営委員長 中村 保様
- ・日本生活協同組合連合会関西地連
八巻 平様
- ・京都府生活協同組合連合会
専務理事 原 強様

◆全国から寄せられた祝電・メッセージ（順不同・団体名敬称略）

- ＜祝電＞・奈良県議会議長 寺澤正男様・奈良県議会副議長 福本虎之祐様
 ・奈良商工会議所会頭 阪本道隆様・奈良県農業協同組合中央会会長 高田昌彦様
 ・奈良県森林組合連合会会長 北村又左衛門様 ・広島県生活協同組合連合会
 ・奈良県地域婦人団体連絡協議会会長 青木藤枝様 ・大阪府生活協同組合連合会
- ＜メッセージ＞
 ・日本生活協同組合連合会関西地連・兵庫県生活協同組合連合会・和歌山県生活協同組合連合会
 ・三重県生活協同組合連合会・全岐阜県生活協同組合連合会・山口県生活協同組合連合会
 ・香川県生活協同組合連合会・愛媛県生活協同組合連合会・香川県生活協同組合連合会

来賓挨拶



奈良県知事
柿本 善也氏

柿本知事は、昨今奈良県下では大学生協の結成が続き、みんな一緒に消費生活を考えていくという機運が盛り上がりつつあることには、まことに喜ばしいこととあり、今後の更なる発展を祈念いたします。

奈良県議会
厚生常任委員長
梶川 虔二氏



二人は万人のために、万人は一人のためにの精神のもとに、加川豊彦先生が神宮に生協を作られ、その神宮からコープこうべ理事長・竹本成徳氏に超越していただき、生協法制定五十年の節目の年に第九回奈良県生協大会の記念大会が開催されましたことを、お祝い申し上げます。

＜奈良新聞 11・14＞

消費生活協同組合法制定から五十年を迎えられ、まことにめでたうございませう。この間、五十年にわたる地道な努力の蓄積が芽を出し、生協にあっては着目した。生協にあっては着目した。



奈良市長
大川 靖則氏

生協と言いますと、私も学生時代に、市販より安く物が買えるというところで大変重宝した時期がありました。暇遊時に買金をお付しましたら記念品をいただいたことなど、懐かしい思い出です。当時はまだまだ国民生活が困難な時期でありまして、今日とは隔世の

奈良市は今年で百年を迎えましたが、生協も五十年を迎えられました。思い起こせば戦後の生活苦の中から生協が誕生し、今日の発展を遂げられましたことは、まことに喜ばしいことであり、心からお祝い申し上げます。市民が生活しやすい消費社会を作っていくを祈念いたします。

「二人は万人のために、万人は一人のために」の精神のもとに、加川豊彦先生が神宮に生協を作られ、その神宮からコープこうべ理事長・竹本成徳氏に超越していただき、生協法制定五十年の節目の年に第九回奈良県生協大会の記念大会が開催されましたことを、お祝い申し上げます。

流通関係の娯会の中で、消費者のニーズは多様化・高度化しております。生協に對しては、このような消費者のニーズにこたえた流通関係のリーダー的役割を期待しています。

繁田会長のあいさつ

<奈良新聞 11・14>

今年消費生活協同組合法が施行されて五十周年と
いうことになりました。この
法律は昭和二十三年に法律
第二百号として制定・公布
され、十月一日から施行さ
れ、その後十数回にわたる
一部改正を経て今日に及ん
でおります。この法律は、
消費者の生活協同組織の発
達を図るための協同組合に
関するものと管えます。



奈良県生活協同組合
連合会会長

繁田 實造氏

主催者挨拶

この法律の前身として
は、明治三十三年に制定・
公布・施行された購買組
法があり、信用組合、販売
組合、購買組合、利用組合
の四種類の協同組合が認め
られました。戦後、これら
の組合は農業協同組合法
（昭和二十二年制定・施行）
により、農協協同組合を
中心として、消費者協同組
法に改組されました。こ
の法律は、消費者協同組
法の前身として制定・公布
され、十月一日から施行さ
れ、その後十数回にわたる
一部改正を経て今日に及ん
でおります。この法律は、
消費者の生活協同組織の発
達を図るための協同組合に
関するものと管えます。

よる購買組合についての規
定があっただけで、一般動
業者等の組織する消費組合
は法人格のない任意的な社
団にすぎませんでした。第
二次大戦後、国民生活の安
定が重要視されることも
あって、各分野で協同組合の
発展を図り、もって国民生
活の安定と生活文化の向上
を期することを目的とす
るべく、消費者協同組
法に改組されました。こ
の法律は、消費者協同組
法の前身として制定・公布
され、十月一日から施行さ
れ、その後十数回にわたる
一部改正を経て今日に及ん
でおります。この法律は、
消費者の生活協同組織の発
達を図るための協同組合に
関するものと管えます。

J A 中央会高田会長による 乾杯の音頭



ならコープ稲川相談役理事 厚生大臣表彰を受賞 記念品贈呈

生協法制定 50 周年に当たり、厚生大臣
表彰が実施されました。98 年 10 月 21 日
東京・全労済スペースゼロにおいて宮下創
厚生大臣出席のもと表彰式が行なわれ、今
日のならコープの発展の基礎を築いた事な
どで奈良県知事の推薦を受け稲川和夫なら
コープ相談役理事（98 年 11 月で退任）が、
受賞されました。これをうけて、県連では
生協大会当日、受賞をお祝いして記念品の
贈呈を行ないました。



会員生協の理事長紹介

県連会長賞として3つのサークルが受賞しました

福祉・文化推進賞



全労済ホームヘルパーの会 やすらぎ
(代表 泉 礼子)



ならコープ福祉サークル チェリーブLOSSAM
(代表 北原美津子)

環境・リサイクル推進賞



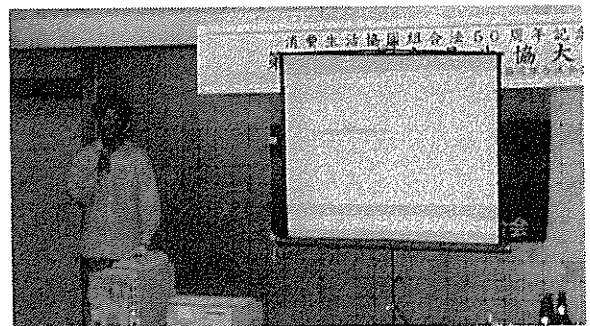
ならコープ環境サークル
みみなしぐるうぶ (代表 浦澤和子)



なごやかに歓談



みみなしグループによる人形劇



生協設立に関わる学生委員活動報告



台風被災者への労済生協取り組み報告

右手副会長の閉会あいさつ



大きな被害を受けた台風7号

被災者募金や復興支援に取り組みました

'98年9月22日、近畿地方を直撃した台風7号は、奈良県に非常に強い暴風雨をもたらし、新庄町では最大瞬間風速が59.5m/sを記録するなど観測史上三番目の強風となり、県内各地に無残なつめ痕を残しました。特に中南和地域では、家屋の損壊はもとより農林業もかかってない深刻な被害となりました。ならコープにおいても、生協の施設等の被害を受け事業活動への影響がありました。

これら被害に対して、労済生協やならコープでは、住宅被災者への迅速な共済金給付に奔走しました。

また、ならコープでは、“台風7号被災者救援募金”に取り組み、組合員から約281万円の募金が寄せられました。さらに、日本生協連が“98水害生協募金”を呼びかけ、全国の生協から約2,000万円近い募金が集まりその内約353万円が、奈良県の被災者へ寄せられました。



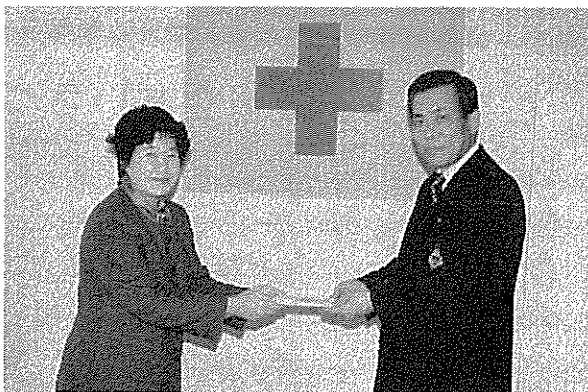
無残になぎ倒された杉の木

被災地視察

11月27日、ならコープの理事等16人の参加で、台風7号による吉野町西谷・千股の森林被害、五条の柿被害の現地視察を行ないました。県林政課の住友係長はじめ吉野流通林業活性化センター丸山常務、吉野町森林組合谷口組合長、吉野林業指導事務所亀岡所長、午後から西吉野産直センター岡崎さんに案内いただき、被害の生々しい状況を目の当たりにしました。今後、すぐに直接的な援助ということにはならないとしても、交流も含めて農山村との関係づくりが大切なことを確認しました。

災害救援募金の贈呈

12月2日、日本赤十字社奈良県支部、12月7日五条市役所において、ならコープの組合員から寄せられた“台風7号被災者救援募金”と全国の生協から寄せられた“98水害生協募金”の贈呈式を行ないました。ならコープ組合員を代表して吉田理事から日赤東森事務局長へ、湊理事から榎五条市長へ、全国の生協を代表して仲宗根県連理事が両氏へ贈呈しました。また、ならコープと県連から奈良県JA中央会と奈良県森林組合へ、ならコープから産直生産者15団体へ贈呈しました。



日赤 東森事務局長へ贈呈



榎 五条市長へ贈呈

<募金額内訳=ならコープ2,814,251円、日生協3,536,287円、県連60,000円>

10周年記念 ミステリー列車

11月3日、総勢465名の夢を乗せて“ひまわり号列車”が走りました。今年は10周年記念ということで行き先不明のミステリー列車に乗り込んだ乗客は、車窓を見ながら、また胸を躍らせながら到着地に思いをはせていました。目的地の琵琶湖では貸し切りのピアンカに乗船し、様々な企画に楽しい1日を過ごしました。



夕刊で取材した参加者の感想

■ 十津川を朝4時に出てきました。ひまわり号は仲間がいっぱい。気兼ねなく参加できて、子供達ものびのびしているようで本当に来て良かった。天気が良くていい気持ち。今度は東京の新宿に行ってみたい。行けるかな？

(愛のつどい学園高等部1年 千葉ひかるさんとお母さん)

■ 知らない所に行けるのが楽しみ。ピアンカは大きくゆったりしていてくつろげました。今までで一番良かった。(増田美恵子さんと大介君)

■ ひまわり号のハガキをもらって友達をさそってボランティアのつもりで参加しました。何をしたらいいのかな？ 伊藤幸祐君と坂西広大君(郡山南中学2年)

■ ポスターを見て初めて参加しました。どんなことするのか？まず参加してみて仲間に伝えようと思います。訪問看護ステーションが今年から始まりました。やることやりたいことがいっぱいワクワクします。みんなが協力して楽しい旅行ができるっていいですね。

(大和高田市立病院看護婦 高井恵美子さん)



■ 帰り際のひとことが私達の励みです。当日も大変ですが準備がもっと大変なんです。直前には多くの方が協力してくれますが、それまでは10人ぐらいのスタッフで準備しなければなりません。20人ぐらいは欲しいですね。滋賀の実行委員の方々にもお世話になっています。やはり、一番うれしいのは帰り際参加者から「今日は楽しかった」と声をかけてもらった時ですね。(副実行委員長 平井国弘さん)

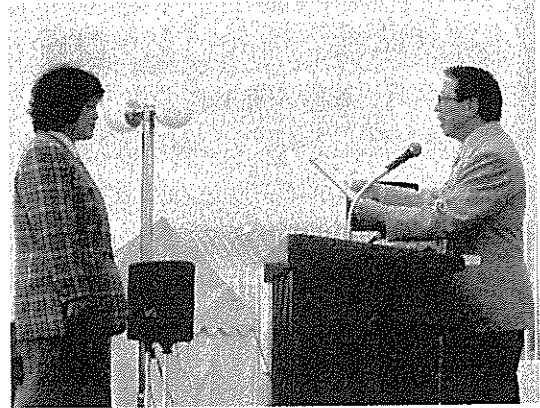
環 境

奈良市の地球環境賞を受賞

コープおしくまもみの木

10月24日、奈良市主催の平成10年度ごみ減量・リサイクルキャンペーン「環境フェスティバル」が奈良そごうにおいて開催され、リサイクルなど環境保全や学習に取り組む市民団体として、コープおしくまもみの木が「地球環境賞」を受賞しました。

コープおしくまもみの木（瀬戸ヒロミ代表）は、平成5年の結成以来、コープおしくまを拠点に店頭での牛乳パック・発泡スチロール食品トレー回収を行ない、同店の資源回収促進に貢献しています。また、組合員、来店者を対象とした学習会の開催など独自の活動を行っています。



ならマイバックキャンペーン

10月1日～31日まで、奈良県内の企業や団体が参加している奈良県環境県民フォーラムが、県内にあるスーパーに呼びかけて「ならマイバッグキャンペーン」を行いました。日常的にマイバック持参運動を行なっているならコープも、キャンペーンに参加しました。

10月1日には、キャンペーンをアピールするため、奈良県環境県民フォーラム参加団体から50名が参加し、各団体から持ち寄ったマイバッグ700枚を通行人に配布し、あっという間になくなってしまいました。

今回のキャンペーンのまとめとして、県内企業と行政が一緒になって展開できたことの意義と、今後恒常的な取り組みとしていくために、'99年にも工夫して行なうことが確認されました。

COP3一周年行事

12月5～6日、京都市でCOP3一周年行事が、気候ネットワーク・地球温暖化防止京都ネットワーク共催で開催されました。

5日、京都市北文化会館において、「京都会議から1年・何が変わったか？」というテーマで開催され、主催者からの報告や、吉井正澄水俣市長の講演、各団体からの報告がありました。

6日、大谷大学と北文化会館で5つの分科会に分かれて行なわれ、温暖化防止につながる多様な取り組みについて、意見交換や交流が行なわれました。また、同会館では「アースデーカメオカこどもとおとなの絵てがみメッセージ展」や、活動報告等のパネルの展示がありました。



平和

アメリカ臨界前核実験に抗議！

'98年9月26日、アメリカネバダ州の地下核実験場で臨界前核実験が強行されました。奈良県生協連では、10月7日にクリントン大統領あてに抗議声明文を送付しました。

アメリカ合衆国大統領
ウイリアム・J・クリントン 殿

臨界前核実験に嚴重に抗議する

貴国が、9月26日、4回目の臨界前核実験を強行したことに嚴重に抗議する。

今回、貴国が行った臨界前核実験は、核兵器廃絶を願う全世界の人々に対する新たな挑戦である。

「インド、パキスタンの地下核実験は包括的核実験禁止条約（CTBT）に違反しており、貴国が核兵器を使用するためにする臨界前核実験は同条約に違反しない」とどうして言えようか？

昨年締結された包括的核実験禁止条約の精神は核軍縮をめざすものであり、明らかに貴国の臨界前核実験は包括的核実験禁止条約に違反するものである。

以後の実験の中止を強く求める。さらに、貴国が「超大国」として国際間の先頭にたって、核軍縮、核兵器廃絶に向けて努力されることを強く要望する。

大量の核兵器が存在する現在は、人類滅亡の危機に直面している。これに対して、国際世論は核兵器廃絶条約の早期締結を求めている。末永い子孫の繁栄のために！

'98 ノーモア・ウォーのつどい

『今、ほんとうに平和かな 知ってる？ 12月8日』

12月6日、「'98 ノーモア・ウォーのつどい」（ならコープ主催・県連共催）が、ディアーズコープいこまの集会室で開催され、のべ202名の参加がありました。奈良市立二名中学校校長の比嘉昇さんの講演や、アジアからの留学生を交えて戦争についてみんなで考えました。午後からはアニメ映画「かんからさんしん」が上映されました。また、わかくさの会（奈良県原爆被害者の会）による原爆パネルの展示や、戦争当時の一般家庭の居間の再現やすいとんを食べて、戦争の悲惨さや当時の質素な暮らしぶりを体験しました。



比嘉 昇二名中学校校長の講演



戦争当時に使用された展示品

広がる協同・くらしの輪

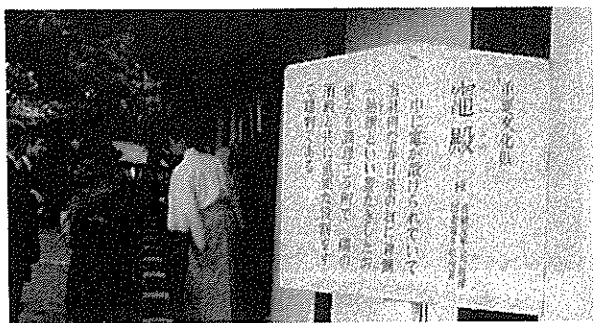
近畿農政局との懇談会

10月2日、近畿農政局において、近畿農政局と近畿生協連との第1回懇談会を開催しました。岩本近畿農政局長をはじめ、各部、各課の長、担当官の計22名と生協連から14名が参加しました。近畿農政局それぞれの部・課からの報告と各県連からの活動報告を行ないました。



“神饌にみる古代食”と中旬の献

11月7日、奈良春日大社において、講演“神饌にみる古代食”と中旬の献が、奈良の食文化研究会主催で開催されました。奈良女子大学丸山悦子教授が、「古代から時熟の品々が神に献ぜられ、神に供える食事を神饌といい、古代の食生活を知る上で貴重な資料になる」こと等、奈良、京都のご神饌をスライドで紹介しながら講演されました。参加者は講演後、春日大社中旬の献を賞味し、いにしえの昔に思いをめぐらしていました。



県営福祉パーク オープニングフェスタ

10月21日、平成7年3月に制定された「奈良県住みよい福祉のまちづくり条例」の理念を実現するために、住宅・道路等まちづくりの総合的なモデルとして、都市公園と福祉体験施設を一体的に整備した県営福祉パークがオープンしました。フェスタ期間中、ならコープのたすけあいの会のメンバーの協力で行ないました。



98年度第2回生協・行政協議会

10月8日、99年度奈良県予算への反映に向けて、福祉2、環境1、食の安全1、消費者保護1、役職員教育1、生協育成1の計7項目の要望を提出しました。これら要望に対して、11月12日、共済会館やまにおいて98年度第2回生協・行政協議会を開催しました。県民生活課中辻課長の回答の後、回答に対する協議を行ないました。



全労済・地域文化イベント

11月14日、春日野荘において全労済・地域文化イベントが開催されました。東大寺第214世別当・華厳宗管長、守屋弘斎師を招き、“^{ほどこし}施”というテーマで講演が行われました。守屋氏は最近起こっている犯罪事例に触れながら、金銭や品物だけでなく、親切な行為、奉仕も立派な施であるとし、七種施（やさしい眼差しで接する＝眼施、にこやかな顔で接する＝和顔悦色施、やさしい言葉で接する＝言辞施、礼儀正しく接する＝身施、おもいやりの心で接する＝心施、席をゆずる＝床座施、気持ちのよいもてなし＝房舎施）の実行を勧められました。



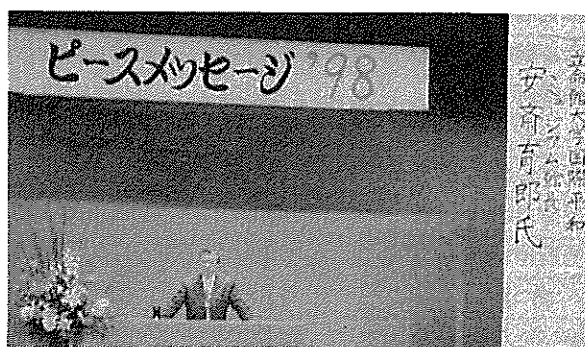
消費者契約法の学習会

12月2日、県文化会館において、ならコープ消費者ネットワークこむらいふと県連共催で行ないました。講師の本多久美子弁護士は、消費者契約法制定に向けて、消費者契約法の必要性と今後の課題について、現在起こっているトラブルを交え、わかりやすく説明されました。



ピースメッセージ98

11月22日、三宅町文化ホールにおいて、こどもの「心の教育」アクションプラン“ピースメッセージ98”が奈良県青年団協議会主催で開催されました。「身の回りの平和」をテーマに心の奥底にある感受性を豊かに表現するとして、7つのグループがオリジナル曲を演奏しました。その後、立命館大学の安齋育郎先生の「心と社会に平和を」というテーマで講演がありました。



奈良県単一JA 合併予備契約調印式

12月2日、奈良ロイヤルホテルにおいて、各JA関係者、全国連代表者、議員、各行政の代表者、農水省、関係団体、報道機関等300人近くの参加で開催されました。連県を代表して繁田会長が激励と連帯のあいさつを述べました。調印式では、合併推進協議会柿本会長・JA中央会高田会長のあいさつ、合併推進の経過報告、合併予備契約書朗読の後、全国で最初の歴史的な合併予備契約調印が行なわれました。



つながる連帯・友好の輪

労済生協

＝台風7・8号災害の風水害共済金の取り組みについて＝

9月22日に発生した台風の被害に対して、近畿地方本部内に災害対策本部を早急に設置をして現在まで対応を行っています。処理状況、及び支払状況は以下の通りになっています。

1) 処理状況 ('98年11月12日現在)

	加入確認件数※	現場調査件数	書類審査件数	対象外件数
滋賀県本部	160	61	54	45
奈良県本部	2,414	1,310	645	381
京都府本部	309	133	68	76
大阪府本部	3,546	1,625	1,052	704
和歌山県本部	738	342	179	123
兵庫県本部	201	77	56	32
他府県本部	211	89	58	54
合計	7,579	3,637	2,112	1,415

※ 加入確認件数とは、総被災連絡受付件数の中から加入確認後、重複連絡分等を除外した件数です。

※ 加入確認件数合計のうち、台風10号の件数は288件です。

2) 支払状況 ('98年11月12日現在)

	全壊	半壊	一部 100万	一部 50万	一部 20万	床上 浸水	計	支払金額
滋賀県本部		2	16	16	35		69	15,870,000
奈良県本部	2	23	352	383	403		1,163	301,452,850
京都府本部			22	27	37	18	104	23,161,000
大阪府本部		10	364	451	619	6	1,450	319,269,900
和歌山県本部		2	73	94	104	1	274	63,447,375
兵庫県本部			12	9	30	9	60	11,545,091
合計	2	37	839	980	1,228	34	3,120	734,746,216

※ 他府県実績分、単産共済分(390件)については、支払状況にはカウントしていません。

(漆原事業推進2課課長)

奈良高等専門学校生協

高専生協では、学生委員会企画としてクッキングコンテストを開催しました。組合員の皆さんから自慢のメニューを応募し、食堂の職員さんと一緒に書類審査を行ないました。その中から3つのメニューを選考して、そのメニューを実際に作って、11月5日に試食会を行ないました。試食会には70名弱の組合員が参加し、楽

しくにぎやかな雰囲気の中、大成功に終わりました。試食会で一番人気の高かったメニューを第一回グランプリとし、林店長にお願いして食堂のメニューとして提供して行く予定です。今後も多くの組合員が参加できる、楽しい催し物を企画して行きたいと考えています。

(弦川学生委員長)

樟蔭女子短期大学生協

＝台風を乗り越えた若樟祭＝

樟蔭女子短期大学では、10月17日・18日に若樟祭（学園祭）が開催されました。大学のバックアップのもと若樟祭実行委員会が半年前から準備にかかっていた。私も初めて経験する学園祭対応であり、期待半分、不安半分で当日に向けて日々過ごしていました。実行委員会と同様、15日から宿泊し準備の山場を迎えた頃、運の悪い事に台風が接近するとの情報が飛び込んでみんな大慌て。奈良に一番近づく時が若樟祭当日になる見込みで、2日間のうちどちらか1日は確実に中止、最悪は2日とも中止の場合もあると覚悟していました。しかし、みんなの『開催したい』という願いが通じ、18日は晴れ間も見えるという中で無事開催できました。良かった良かった。（増田店長）

奈良女子大学生協

奈良女子大学では学園祭も終わり、年賀状やクリスマスカードとお店の雰囲気をも冬に向けて作りかえ、学生さんが楽しく立ち寄ってくれるお店にしようと頑張っています。11月は、久々に食堂・購買・書籍・サービスが予算達成しました。99年新学期に向けて、予算づくりと新入生を迎える計画に慣れない中で頑張っています。お店のパートさんも品揃えやディスプレイに頭をひねりながら楽しく店づくりに奮闘しています。また、組合員の提案や一言にも積極的に応え品揃えに努力しています。学生委員会（花小町・ウィンディー）では、一回生への引継ぎ合宿や1年のまとめ、カレー・お菓子試食会やお店のポップ作り等、知らせる活動が進んで来ました。今、コープタイムス冬号の作成にとりかかっている最中です。食堂では、奈良地

区の生協の職員（正規、パート職員、専務）と京都事業連合F Sの職員が、奈良教育大学で、12月11日に会議を開き、後、忘年会を開きました。ショップ主任の屋根二九美さんが、西九州生協の研修訪問で、良い取り組み事例を学んで来ました。（竹内専務理事）

奈良県立商科大学生協

秋華祭（学園祭）も無事終わり食生活相談も出来ました。今、大和路通信（機関紙）と新学期準備を始めようとしています。お店では、企画の棚を作り、分かりやすいポップで明るいお店にしようとしています。生協設立後はじめて県の指導検査が行なわれ、1.重要書類の管理 2.法定脱退の組合員の払い戻し 3.総会代理書面 4.役員立候補について 5.監査について 6.定款・諸規定について 7.業務委託について 8.供給未収金についての8項目の意見を受け、理事会で改善の議論を深めているところです。（同上）

奈良教育大学生協

11月19日から22日まで開催された奈良教育大学学園祭“もろぎ糴糶祭”では、生協学生委員会から、環境を考える企画「紙すき」とお酒を飲む機会だからこそお酒とのつきあい方を知る企画「アルコールパッチテスト」を行ないました。「紙すき」は道具をならコープからお借りして、地域の人達と一緒に牛乳パックから手作りハガキを作りました。案外簡単に作れるので、「家でもやってみよう」といった声も聞かれました。こうした取り組みでリサイクルの心が広がればよいなど考えています。また、有志で行なった模擬店には、他生協の学生委員も集まり、学園祭を満喫しました。（疋田専務理事）

県連日誌

- 9/24 第3回理事会
 - 28 奈良市清掃業務専門分科会
- 10/2 第1回近畿農政局・近畿生協連懇談会
 - 8 奈良教育大学生協研修会
- 14・15 奈良県立商科大学生協指導検査
 - 15 第2回事務局会議
 - 31 第9回奈良県生協大会
- 11/3 ひまわり号列車
 - 7 食文研「古代神饌食」
 - 9 生協法50周年シンポジウム
 - 10 全労済・地域文化イベント
 - 12 第4回理事会・行政協議会
 - 27 台風7号被害状況視察
- 12/2 消費者契約法学習会
 - 2・7 台風7号救援募金贈呈
 - 6 ノーモア・ウォーのつどい
 - 10 第3回事務局会議

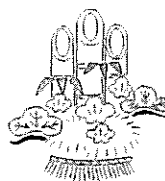
お知らせ

◆ならコープ公開講演会

C.W ニコル氏が環境問題を語る
 と き 1月21日(木) 13:30~15:00
 ところ 奈良県新公会堂(能楽ホール)
 定員 500人(無料)
 申し込み ならコープ組合員活動室
 Tel. 0742-34-8735

◆すぐに役立つ ごはん食健康講座

と き 2月3日(水) 13:00~15:30
 ところ 奈良文化会館 小ホール
 講師 鈴木 雅子教授
 福山市立女子短期大学
 定員 200人(無料)
 申し込み 奈良県 農林部農林課食糧係
 Tel. 0742-22-1101 内線 3829



編集後記

▽十二月一日、社会貢献活動の促進を法の目的としてNPO法が施行された。東大寺別当守屋弘齋師は、奉仕も立派な施ですと施の実行を勧められる。台風による森林・農業復旧ボランティア、福祉ボランティアの機会が多いことか。忙しくてそれどころではとつい思ってしまう。一つでも二つでも施の心を持ちつづけたい。(俊)

▽いよいよやって来ましたが1999年。ノストラダムスの予言が流行った頃、二十年後の自分の姿など想像も出来なかつた。でも、現実となった今言えることは、子供達のために住みやすい環境を守り、うそをつかず、生き生きとしたおとな達の姿を見せて行かなければと思う。今年のは世紀末となるか、景気が回復するか? とりあえず、本年もよろしく願います。(鈴)

▽寅年も余りいい事がなく一年が終わってしまいました。消費不況の荒波に一人敢然と立ち向かい、浪費に励み、どこかの野球チームのように、虎の子を目減りさせてしまいました。今年は、二兎を追う事をせず、地道に一兎を...と思うのだけど、何しろあの兎のように昼寝が好きでしかも亀のようなあゆみの人間。どうなります事やら。(信)

奈良県生活協同組合連合会

〒630-8136 奈良市恋の窪 1-2-2 ならコープ気付

TEL 0742-34-3535

FAX 0742-34-0043